

著書・論文・国際学会・寄稿・報道（新聞、テレビ、ネット等）、取材、他による報道記事（当法人施設の訪問記事・紹介記事、貢献記事等；記事内容全文が必須）、等

2011年度（平成23年度）

604. 梶川 博：年男放談. 広島西ロータリークラブ会報 2011：5, 2011. （広島西ロータリークラブ例会卓話、2011. 1. 6、ANAクラウンプラザホテル広島、広島市）
605. 野村栄一：今年こそマッチョ、広島市医師会だより、(No. 537) 1：32~33, 2011.
606. 梶川咸子：通信販売. ペン（HIROSHIMA）（広島ペンクラブ）2011(上)：63, 2011.
607. 野村栄一：頭部疾患への対応. 第3回広島市医師会千田町 夜間急病センター対応講座. 広島市内科医会報 68：14-15, 2011.
608. 若林伸一：脳卒中 -食事や検診 予防心がけ- 翠清会梶川病院 若林伸一院長に聞く. 読売新聞 2011年2月6日（日曜日）.
609. 梶川 博：歳男の抱負. 広島市医師会だより (No. 538) 2：15, 2011.
610. 仲 博満：日本人の脳卒中治療の今後を考える -CSPPS (II) の結果を受けて-、日経メディカルオンラインコメント（広島県）、2011年（3月）.
611. 梶川 博：会長時間. 広島西ロータリークラブ会報 2016：1, 2011. （広島西ロータリークラブ第1992回例会卓話、2011. 2. 10、ANAクラウンプラザホテル広島、広島市.）
612. 梶川 博：会員のこえ. 広島市医師会だより (No. 539) 3：33-34, 2011.
613. 野村栄一：会員のこえ. 広島市医師会だより (No. 539) 3：34, 2011.
614. 今村栄次：会員のこえ. 広島市医師会だより (No. 539) 3：34, 2011.

615. 梶川 威子：会員のこえ．広島市医師会だより（No. 539） 3：37, 2011.
616. 長谷智子（共同執筆者）：V I I I . 権利擁護と利用者支援、医療福祉総合ガイドブック2011年度版、編集：NPO法人 日本医療ソーシャルワーク研究会（編集代表；村上須賀子、佐々木哲二郎、奥村晴彦）、医学書院. p. 227～251、2011（4月）
617. 梶川 博：会長時間．広島西ロータリークラブ会報 2028：1, 2011.（広島西ロータリークラブ第2004回例会、2011年5月19日、ANAクラウンプラザホテル広島、広島市.）
618. （取材記事）脳卒中治療最前線6／翠清会梶川病院 「患者さん第一」を理念に急性期から介護まで、地域の脳卒中医療に貢献 若林伸一先生（院長） 野村栄一先生（副院長/脳神経内科主任部長） Pharma Medica 29(No. 5)：168-171、2011.
619. 梶川 博：温故知新 広島大学在籍中の論文 -昭和45年4月～50年5月- 平成22年度 広島大学脳神経外科同門会誌 第7号；46-50, 2011.
620. 梶川威子：ヒッチハイク．ペン（HIROSHIMA）（広島ペンクラブ）2011(下)：40, 2011.
621. 梶川 博：大阪医科大学脳神経外科教室開設35周年、黒岩敏彦教授就任10周年に寄せて．大阪医科大学脳神経外科教室開設35周年、黒岩敏彦教授就任10周年記念誌 2011年 大阪医科大学脳神経外科教室. p. 22-23.
622. 須山嘉雄：関連病院だより 翠清会梶川病院．大阪医科大学脳神経外科教室開設35周年、黒岩敏彦教授就任10周年記念誌 2011年 大阪医科大学脳神経外科教室. p. 87.
623. 神尾昌則：(新会員卓話：6月9日例会)「山よ、動け」．広島西ロータリークラブ会報 2031：2, 2011.
624. 野村栄一先生（司会）、仲 博満、岡田武規、塩見哲也：(座談会)アテローム血栓性イベント予防のための脳・心連携．-最適な抗血小板療法を共有するために- MEDICAMENT NEWS 2054:1-3. (2011年6月15日発行)
625. 野村栄一、仲 博満、鳥居 剛、高松和弘、大槻俊輔、松本昌泰、棚橋紀夫：急性から慢性期の非心原性脳梗塞治療を考える（座談会）. Medical Tribune（2011年7月21日号特別企画）
626. 若林伸一：新会員スピーチ．広島ロータリクラブ 第717号；13-14. 2011（8月）
627. 松田健司：(取材記事) イケMenナース奮闘記 今回のイケMenナース9 翠清会梶川病院4階B病棟 松田健司（まつだ けんじ）. Brain Nursing Vol 27 no. 9(841):1, 2011.
628. 野村栄一：(著書)（問題作成委員）脳卒中専門医試験 問題・解説集（編集 日本脳卒中学会専門医認定試験委員会）：2011年、中山書店、東京、2011.

629. 梶川 博：天路歷程. 聖路加国際病院 昭和38年度インターン同窓会、文集および名簿、2011（11月）。
630. 梶川 咸子：「聖路加インターン」から48年. 聖路加国際病院 昭和38年度インターン同窓会、文集および名簿、2011（11月）。
- 631 梶川 博：Teech in 「九州新幹線」広島市医師会だより No. 547（11）：28-29, 2011.
632. 平田明子：(修士論文) 脳塞栓患者における心房細動に関する研究.
(101.800022.01) 放送大学大学院 文化科学研究科 生活健康科学プログラム 多田羅浩三教授、2011年12月。
633. □長谷智子：(著書) 広島県医療ソーシャルワーカー協会□患者と福祉□翠清会梶川病院におけるMSW体制の構築□No. 32:11-12. 2011年12月発行
634. □大下智彦：Kakuda T, Fukuda H, Tanitame K, Takasu M, Date S, Ochi K, Ohshita T, Kohriyama T, Ito K, Matsumoto M, Awai K. □Diffusion tensor imaging of peripheral nerve in patients with chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy: a feasibility study. □Neuroradiology□No. 53:955-960. 2011
635. □大下智彦：Takahashi I, Geyer SM, Nishi N, Ohshita T, Takahashi T, Akahoshi M, Fujiwara S, Kodama K, Matsumoto M. □Lifetime risk of stroke and impact of hypertension: estimates from the adult health study in Hiroshima and Nagasaki. □Hypertens Res. □No. 34. 649-654. 2011
636. □大下智彦：石原 愛子、宮地 隆史、大下 智彦、中村 毅、山脇 健盛、松本 昌泰□日本運動障害研究会機関誌□治療抵抗性脊髄炎と鑑別を要した脊髄硬膜動静脈瘻の一例□No. 21. 29-34. 2011

